

昨年10月から教育開発支援センターが第2学舎1号館にOPENしました。本センターでは、教育開発に関する書籍や授業改善のためのツール（機器）を貸し出しています。その一部をご紹介しますので、是非ご興味のある先生方はご来室ください。その他の書籍等については、WEBページをご覧ください。



**書 籍**

● **高等教育事情を考察する**

- 『高等教育概論—大学の基礎を学ぶ』  
有本章（著）（ミネルヴァ書房）
- 『大学の教育力—何を教え、学ぶか』金子 元久（著）（筑摩書房）

● **ユニバーサル化時代の学生像を把握する**

- 『オレ様化する子どもたち』諏訪 哲二（著）（中公新書ラクレ）
- 『アスペルガー症候群』岡田 尊司（著）（幻冬舎）

● **新しい大学での学びの基本理論**

- 『学習科学ハンドブック』R.K. ソーヤー（編集）（培風館）
- 『「学び」の認知科学事典』佐伯 胖（監修）（大修館書店）

● **先進的な教育改善の取組を知る**

- 『授業の道具箱』  
バーバラ・グロス デイビス（著）（東海大学出版会）
- 『学生と変える大学教育』清水 亮 他（編集）（ナカニシヤ出版）

● **今すぐ教材作成に役立つ**

- 『マインドマップ 勉強が楽しくなるノート術』  
トニー・ブザン（著）神田 昌典（翻訳）（ダイヤモンド社）
- 『学びのティップス 大学で鍛える思考法』  
近田政博（著）（玉川大学出版部）
- 『アカデミックプレゼンテーション入門—最初の一步から始める日本語学習者と日本人学生のための』  
三浦 香苗等（著）（ひつじ書房）

**ツール(機械)**

- **クリッカー** KEEPAD JAPAN「Turning Point」(子機300台)
- **デジタルビデオカメラ**  
SONY HDR-XR500V(HDD120GB) (2台)
- **カメラ用三脚** (1脚)
- **ICレコーダー** SANYO ICR-PS501RM(2台)

**今期SA活動をふりかえって**

**SAを始めて**

社会学部2回生 **宮元綾子**

SAを始めて約1年がたちました。授業を様々な角度から支援できるSAに、とてもやりがいを感じているため、業務が楽しくてたまりません。こんな私がSAになったことで、特によかったと思うことが2点あります。

1点目は、関西大学に詳しくなれたことです。SAは大学の施設や制度など、窓口対応で学生に問われることが多々あります。そんなとき、きちんと説明できるようになるため、日々大学に関するさまざまな事項を学びます。この学びは自身の大学生活にも非常に活かされており、より充実した毎日が送れています。

2点目は、たくさんの人と出会えたことです。特に、異なった学部や学年の人と一緒に業務をできることが私にとってプラスになっています。

これからも、SAを通して大学生生活を満喫していきたいです。

**From**  
センター長

**1年を振りかえって**

教育開発支援センターが実質的な活動を始めて、1年が経とうとしております。この期間に、TAとSAに対する支援体制やその制度の見直しを行うことを

目的とした「TSネットワーク」、授業評価アンケートの抜本的な見直しを目的とした「アンケートX」、さらにe-learningを始めとするITを利用した教育改善を推進することをめざした「ICT教育」の3プロジェクトを立ち上げました。徐々にではありますが、活動成果は生まれつつあります。現在、センターでは2名の専任教員が、各プロジェクトを積極的かつ精力的な推進していますが、さらに、

4月からは新たに2名の専任教員が加わり、一層強力な活動体制になると確信いたしております。今後、センターの活動をさらに積極的にお伝えしていきたいと思っております。

教育開発支援センター長  
化学生命工学部教授  
**池田 勝彦**

